

日本のバスケットボール報道についての研究

寺原 和甫 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 後藤 英文

キーワード：バスケットボール, 新聞報道

1. 緒言

今の日本には、いくつかのプロのスポーツ団体や、多くのスポーツチームが存在する。これらのスポーツチームの活躍は、新聞などで報道され、今では報道の材料としてなくてはならない存在になっている。

その中でも、バスケットボールに着目すると、日本には二つのトップリーグが存在している。しかし、国際バスケットボール連盟 (FIBA) から2リーグの統合を要求され、日本代表の国際試合禁止という処分を下された。このような問題もあり、Jリーグやプロ野球と比べると、報道量に大きな差があることがわかる。バスケットボールはプロのリーグがあるにもかかわらず、新聞報道で大きく取り上げられていないのはなぜかを、野球やサッカーと比較しながら研究したい。

2. 研究方法

1) 調査対象者

新聞社のアマチュアスポーツ担当記者
通信社のアマチュアスポーツ担当記者

2) 調査方法

インタビュー調査 (10~12月に実施)

紙面調査

バスケットボールに関する新聞記事を、bjリーグ開幕前後、オリンピックに関係しているもの、2リーグ分裂問題の処分から解除までに着目して調査。また、Jリーグやプロ野球の優勝に関する記事も調査し、比較した。

3. 結果と考察

紙面調査では、bjリーグ設立前後の紙面は、どちらも試合結果だけが載せられているという状態であった。さらに、野球やサッカーと比べると、優勝時の記事の大きさが小さくなっていった。しかし、オリンピック出場を決めた記事に関しては、大きく取り上げられていた。

インタビュー調査では、記事を書くにあたって大きく載せるポイントは、そのリーグや大会の価値であるということが分かった。バスケットボールは、野球やサッカーと比べて観客数が少ないので、需要が少ないと判断され、報道量も少なくなっている。また、2リーグが存在することによって、日本一がどこになるかがはっきりしなかったことも、影響していたと分かった。今後バスケットボールリーグに必要なことは、地元に着し、観客数を増やすことであるといえる。

4. まとめ

バスケットボールは、野球やサッカーに比べ、観客数が少ないため、報道量も少なくなっている。今後報道量を増やすために、リーグの指導の下での選手強化や、観客を増やすための取り組みが必要である。また、女子のリオ五輪を躍進のきっかけにすることも重要である。

引用・参考文献

bjリーグホームページ

<http://bjleague.livedoor.biz/archives/51945868.html> (2015/5/27 アクセス)

K新聞 2001年1月9日朝刊

M新聞 2015年7月31日朝刊